



開催所 掛川東病院正面玄関前
地域の方もお越しください!

「仕事に楽しみを」毎月、職員や近隣事業所向けに開催されているイベント。
美味しい飲み物や食べ物を囲み、気軽に話することができるきっかけ作りを目的としています。

9月18日(金) 11時半~14時



La Lumiere

きゅんっとときめく、可愛いお菓子をお届けします。

Cheer up

季節の果物と野菜で作ったスムージーを販売します。

10月23日(金) 11時半~14時



大石農場ハム工房

本場ドイツの伝統製法でつくる、こだわりのハム・ソーセージ。

まめやかふえ

本格エスプレッソのラテが楽しめる、袋井のコーヒー専門店。

そうせい

9

2026

No.34

医療法人社団 綾和会 掛川東病院 桔梗の丘 広報誌

希望の丘
マルシェ

9.27日
10:00-14:00

掛川東病院
希望の丘

雨天決行・荒天中止



STAFF VOICE

希望の丘マルシェ実行委員長



STAFF VOICE

希望の丘マルシェ実行委員

希望の丘マルシェは、昨年に引き続き「つながり」をテーマに開催します。人と人とのつながりは、健康づくりや心身の衰えを防ぐうえでも大切だといわれています。当院は、地域の暮らしに寄り添う「コミュニティ・ホスピタル」として、日頃から地域を支える取り組みを進めてまいりました。4回目となる今回は、地域企業に加え、新たに学生も参加し、皆様とともにつくる「共創の場」へと広がりを見せています。本マルシェが、希望の丘事業所や医療・介護施設、地域団体、住民の皆様とのつながりをさらに深める機会となり、心身の健康と笑顔を育むことができるよう、実行委員一同取り組んでまいります。

希望の丘マルシェは、医療・教育・介護施設をはじめ、企業や行政、キッチンカーなど、多くの方々と「つながり」に支えられて開催することができます。美味しい食事や楽しい催しに加え、野菜の充足度チェックや体脂肪・筋肉量測定など、ご自身の健康について気軽に知ることができる企画もご用意しています。それぞれの目的でご来場いただいた皆様が、会話や交流の中で笑顔が溢れ、人と人との「つながり」を感じられる、そんな温かいイベントとなるように一生懸命準備してまいります。

お問い合わせはお気軽にどうぞ!

地域を支える 仲間募集

掛川東病院では医療介護を通じて地域の皆様が安心して暮らせる環境を一緒に作る仲間を募集しています!



まずは見学でもOK
お気軽にお問い合わせください
☎ 0537-23-7111 (市野)

Instagram

当院の取り組みやイベントを随時更新中。
医療現場の日常をお届けしています。



回復期リハビリテーション病棟
診療実績 (令和8年7月)

新規入院患者に対する
重症度割合 53.3%

重症患者でFIM16点以上
改善している割合 71.8%

在宅復帰率 89.7%

アウトカム評価
(実績指数) 50.2

患者1人あたりの
提供単位 8.0

患者構成 脳血管疾患 51.0%

運動器 46.5%

廃用症候群 2.5%



医療法人社団 綾和会

掛川東病院

〒436-0030
静岡県掛川市杉谷南1丁目1-1

☎ 0537-23-7111

FAX 0537-23-7116



contents

特集

● FOCUS 人を支える組織が、より良い医療をつくる。

● 「東病院のひとこま」で半年間の出来事を振り返り

FOCUS

人や取り組みにスポットライトを

人を支える組織が、より良い医療をつくる。 多様な働き方と成長を支える組織づくり

掛川東病院では、患者様へより良い医療・福祉を提供するため、組織体制の見直しと、職員が活躍できる環境づくりを進めています。その一環として、看介護部のマネジメント体制を強化するため、副看護部長を配置し、新たな看護師長を任命しました。



副看護部長が大切にすること

より良い看護を提供し続けるためには、現場だけでなく、組織そのものを育てていくことが欠かせません。副看護部長として大切にしているのは、「現場を自分の目で見ること」です。毎日病棟をラウンドし、職員一人ひとりに声をかけながら、病棟の状況や課題を把握しています。報告だけに頼るのではなく、実際に現場へ足を運び、現状を俯瞰しながら改善につなげることを心がけています。また、組織をより良くしていくためには、次世代のリーダーを育てることも重要です。経験や知識を次の世代へ受け継ぎ、一人ひとりが成長できる環境を整えること

が、継続して良い組織をつくることにつながると考えています。現場と管理職をつなぐ立場だからこそ、職員の声を大切にしながら、誰もが安心して働ける職場づくりに取り組んでいます。看護では、患者様やご家族に寄り添う姿勢も欠かせません。これまでに培った経験を活かし、「その人がこれからどのように暮らしていくのか」という生活の視点を持って関わることを大切にしています。患者様一人ひとりに必要な支援を多職種で考え、最後までその人らしい人生を支える看護を実践できる人材を育てていくことも使命の一つです。患者様にも、職員にも、「掛川東病院でよかった」と思っていた

ける病院を目指して。現場を知り、人を育て、組織を育てる取り組みは、これからも続いていきます。



新任師長の想い

「働く目的は、人それぞれ違っていい。」そんな考えを大切にしながら、病棟運営に取り組んでいます。キャリアアップを目指す人もいれば、子育てやご家族との時間を大切にしたい人、趣味や地域活動を充実させたい人もいます。一人ひとりが思い描く働き方を尊重し、それぞれが自分らしく力を発揮できる環境をつくるのが、師長としての役割だと考えています。自身も急性期病院で経験を積んだ後、掛川東病院へ入職しました。時間外勤務が減り、育児休業を取得できたことで、仕事と家庭の両立を実現できた経験は、

自身の価値観を大きく変えました。その経験があるからこそ、職員一人ひとりのライフステージや目標に寄り添い、安心して働き続けられる職場づくりを目指しています。また、掛川東病院は急性期病院から在宅へつなぐ地域医療の重要な役割を担っています。回復期リハビリテーション病棟をはじめ、地域包括ケア病棟や療養病棟など、それぞれの機能が連携することで、患者様が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう支えています。その役割を果たすためにも、職員同士が互いを理解し、支え合いながら働ける組織であることが欠かせません。職員が自分

らしく働き、自分らしく成長できること。その積み重ねが、患者様やご家族に寄り添う質の高い医療・福祉につながると信じています。



より良い医療・福祉は、一人の力だけでは実現できません。現場を支える組織があり、その組織を支える職員がいるからこそ、患者様やご家族に寄り添う医療が生まれます。掛川東病院は、一人ひとりの思いや多様な働き方を大切にしながら、人と組織がともに成長できる環境づくりを進めています。その歩みが、これからの地域医療を支える力になると信じています。



開院 10 周年記念誌の発行

掛川東病院は、2025年4月で開院10周年を迎えました。それを記念して、掛川東病院の10年をまとめた特別な冊子を制作しました。掛川東病院だけでなく、地域の様々な場所に配布していますので、ぜひ手に取ってみてください。



様々なボランティア活動

踊りあり、演奏あり、ネイルあり。笑いヨガという、珍しい活動をしているボランティアさんにもお越しいただきました。患者様もただ楽しむだけでなく、歌ったり、手を動かしてみたりと、とても積極的に楽しんでくれました。ボランティアの皆様、いつも当院に笑顔と元気を届けていただき、ありがとうございます。

東病院の ひとこま

恒例行事やイベント

サツマイモの苗植えや、お花の植え付け。掛川市ならではの新茶会といった、掛川東病院独自の恒例イベントを実施。多くの世代が交流する場となり、和気あいあいとイベントを楽しみました。また、初となる歯科衛生士による講演会も開催。地域のケアマネジャーさんたちに、歯の大切さをお伝えさせていただきました。

